

### 第 31 回会長の時間 社会奉仕活動について 3 月 16 日

3 月 12 日に行われました、第 31 回うべ福祉まつりでバザーにご参加頂きました皆様、大変お疲れ様でした。東谷委員長から報告があると思いますが、午前中にバザー商品を完売することができました。バザーの収益金は、社会福祉協議会に寄付させて頂きました。わがクラブは、宇部市シルバーふれあいセンター1 階のいつもコーナーで、バザーを行っておりますが、4 月 1 日からは宇部市シルバーふれあいセンターは、宇部市多世代ふれあいセンターに名称が変更となりますことを申し添えます。

また、来る 3 月 20 日（春分の日）は、常盤公園で、第 19 回彫刻清掃が予定されておりますので、ご都合の良い方はご参加をお願い致します。本日は、ロータリーにおける社会奉仕活動についてお話しします。

ロータリーの最初の社会奉仕活動として、シカゴロータリークラブが公衆トイレを設置したことはあまりにも有名な話ですが、すんなりと設置できたわけではありません。1907 年、シカゴロータリークラブの第 3 代目の会長に就任したポール・ハリスは、たまたま出席した商工会の集まりで、シカゴの中心部に位置するループ地区に公衆トイレがないため、通行人が不便な思いをしているという話を聞き込み、これを奉仕活動の実践とする良い機会だと考えました。シカゴロータリークラブは、早速、シカゴ市内のホテルに 25 の市民団体の代表を集め、連合公衆トイレ建設委員会を設立して、行政に働きかけを行います。百貨店組合や酒造組合では、デパートやバーの施設内に既にトイレを持っていたことから、激しい反対を受けました。女性はトイレを利用するためデパートに行つてついでに商品を買う、男性はバーのトイレを利用したついでにビールを飲むというのがシカゴ市民の日常だったので、無料の公衆トイレが出来るとそれらの商売に影響が出ることは明らかでした。交渉は長引き、実際に完成するまで 2 年の歳月が掛かってしまいましたが、最終的には、市当局から建設用地と 2 万ドルの補助金を受け取ることに成功して 1909 年に、市役所と公立図書館の横に 2 つの公衆トイレを設置しました。最初に行ったロータリーの社会奉仕活動として、単に金銭を出すだけの団体活動ではなかった点が評価できると思います。こうして、会長のポール・ハリスは、最初の社会奉仕を成功させましたが、クラブ内には、本来の「親睦と相互扶助」に「奉仕」が入ったことに対して異論を唱える会員も出て、シカゴロータリークラブ内が割れ、出席率も低下するという事態が起きました。親睦派と奉仕派との間で意見が対立し、時の親睦委員長の医師ウィリアム・ネフは、このままではクラブは崩壊すると考え、これを打開する策として、印刷業のハリー・ラグルスに例会で歌を歌って

欲しいと懇願しました。するとハリー・ラグルスは、自ら立ち上がって、「皆で歌おう」と当時流行っていた歌を何曲か音頭を取って歌ったそうです。その結果、毎回のクラブの例会で歌声が響くようになり、クラブの雰囲気は改善されシカゴロータリークラブは、危機を脱しました。これが何年も続いて、例会での合唱はロータリーの伝統となり、現在もロータリーソングとして歌われております。

さて、ロータリー章典によりますと、ロータリークラブの会長は、社会奉仕委員会には、いろいろな分野のロータリアンを任命し、職業上の立場を生かしつつ地域社会のニーズを調査・分析し、他の団体と意見交換を行いながら、効果的な社会奉仕活動に取り組むことが求められています。わがクラブは、以前より宇部福祉まつりでの遊休品バザー、彫刻清掃、街頭清掃、高校での就職模擬面接、外国人技能実習生たちへの職業指導などを行っておりますが、これ以外にも薬物濫用防止、献血推進活動協力、青少年や高齢者や体の不自由な人々への支援など地域のニーズに沿いつつ、職業奉仕に基づいた社会奉仕活動を広げたいと思います。本日は、ロータリーの社会奉仕活動についてお話ししました。